

## 水稻の病虫害発生状況（9月）

### 1 穂いもち

9月上旬の調査では、発生程度「少」以上のほ場割合は全方部で平年より高くなりましたが、ほとんどが「少」発生ほ場でした（図1）。

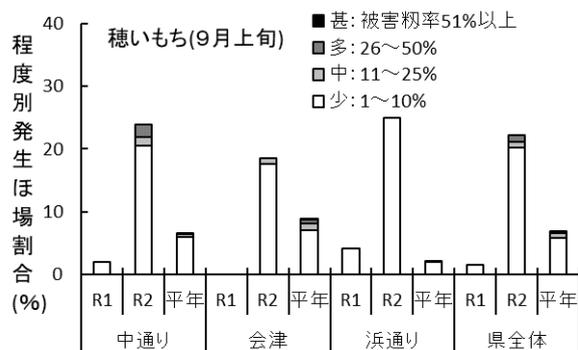


図1 穂いもちの程度別発生ほ場割合(9月上旬)

### 2 紋枯病

9月上旬の調査では、発生ほ場割合は中通りで平年よりやや低く、会津で平年並、浜通りでやや高く、県全体では概ね平年並となりました（図2）。

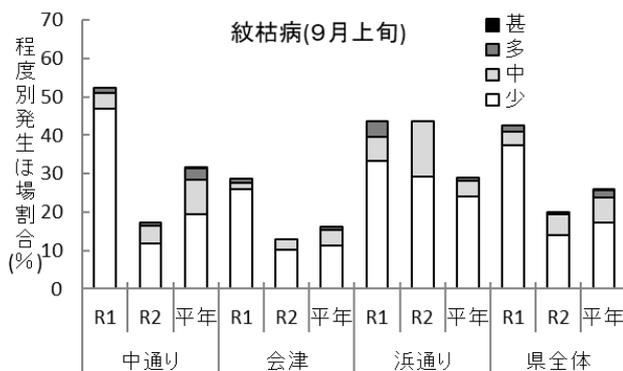


図2 紋枯病の程度別発生ほ場割合(9月下旬)

### 3 稲こうじ病

9月上旬の調査では、発生ほ場割合は中通りと会津では平年並で、浜通りでは発生程度「少」以上のほ場は見られませんでした。県全体では概ね平年並の発生ほ場割合となりました（図3）。

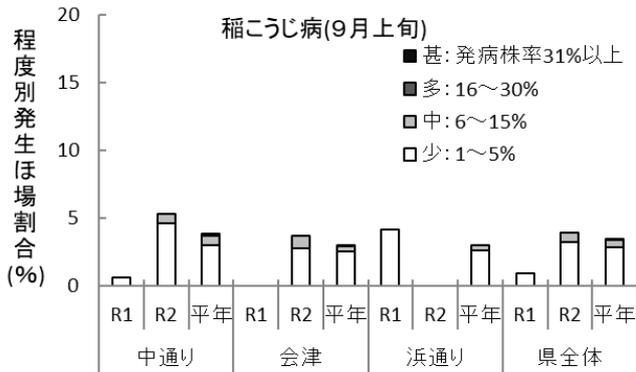


図3 稲こうじ病の程度別発生ほ場割合(9月上旬)

### 5 ごま葉枯病

9月上旬の調査では、発生ほ場割合は全方面で平年並~やや高くなりました（図4）。

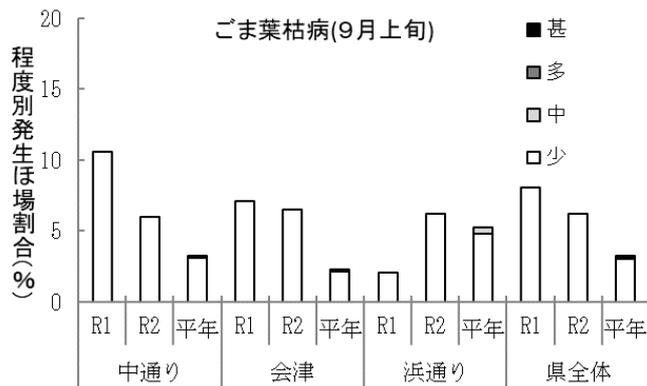


図4 ごま葉枯病の程度別発生ほ場割合（9月上旬）

## 6 斑点米カメムシ類

- (1) 9月上旬の本田すくい取り調査では、発生地点割合は全方部で平年並よりやや高くなりました(図5)。
- (2) 種類ごとの発生地点割合は、中通りではアカスジカスミカメが最も高く、次いでクモヘリカメムシ、ホソハリカメムシとなりました。会津ではほとんどがアカスジカスミカメでした。浜通りではクモヘリカメムシが最も高く、次いでホソハリカメムシ、アカスジカスミカメでした(図6)。

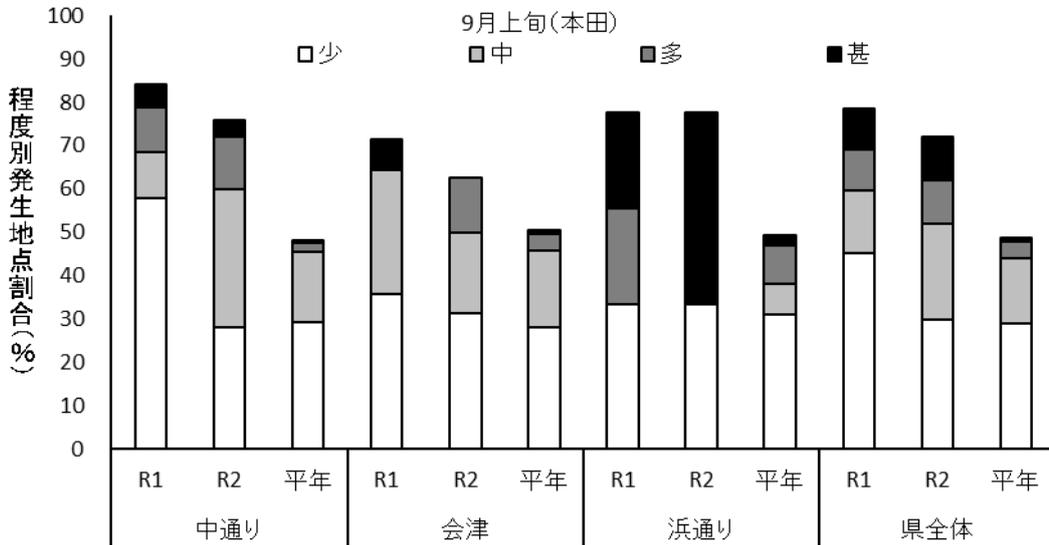


図5 斑点米カメムシ類の程度別発生地点割合(9月上旬・本田内)

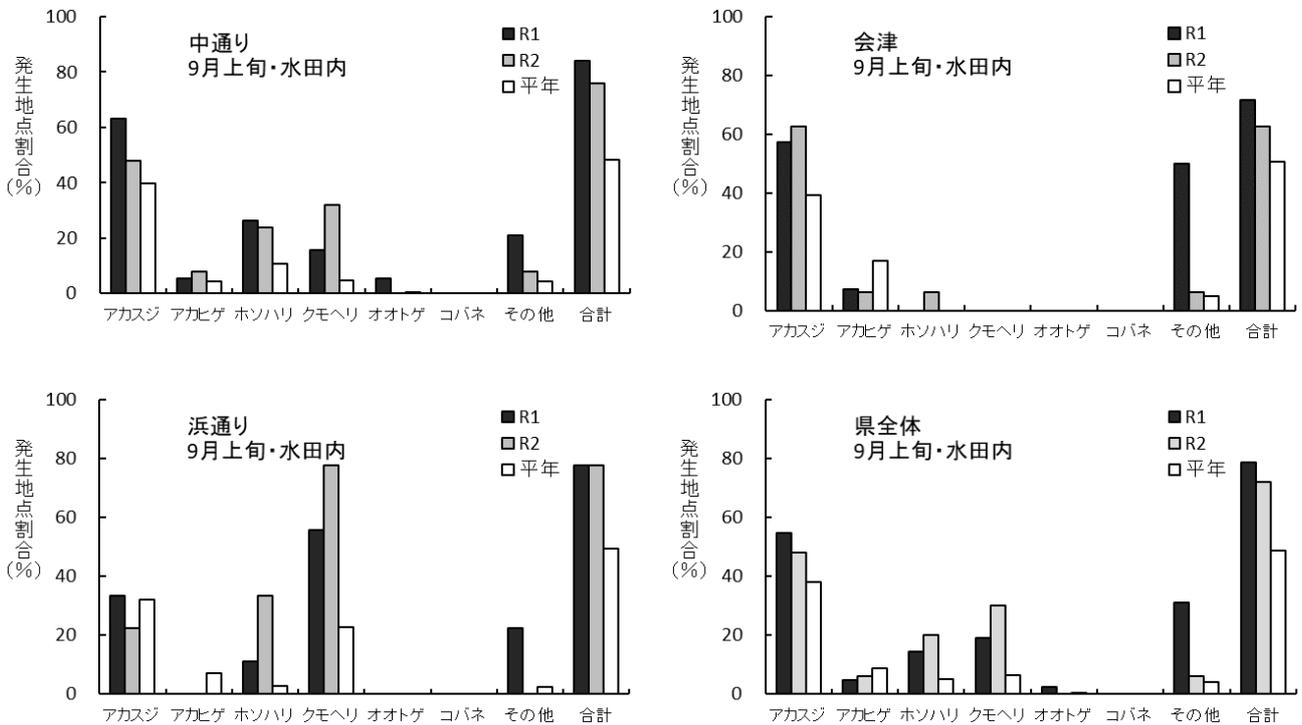


図6 斑点米カメムシ類の種類ごとの発生地点割合(9月上旬・本田内)

※表中のアカスジはアカスジカスミカメ、アカヒゲはアカヒゲホソミドリカスミカメ、ホソハリはホソハリカメムシ、クモヘリはクモヘリカメムシ、オオトゲはオオトゲシラホシカメムシ、コバネはコバネヒョウタンナガカメムシの略。